岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 86

A科:動物科学科　B科:植物科学科　C科:食品科学科　D科:人間科学科　E科:環境科学科

教 科	農業	科 目	課題研究	単位数	2	学年・学科	2学年・D科
教科書			副教材				

学習目標	○農業や家庭に関する調査・研究と、作品製作を通して技術を高めると共に、問題解決能力の育成と、自発性、想像力を養います。
学習方法	○授業での学習と生活を照らし合わせ、実験・実習や作品製作を取り入れながら学習を深めると共に技術を身につけるようにします。 ○研究内容について、発表会を行います。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 （専門教科は知識・技術）	農業と家庭・福祉に関する基礎的な知識を身につけ、生活課題を総合的にとらえることができる。
	b	思考・判断・表現	農業や家庭生活・福祉に関する課題を解決するための問題解決能力や、自己教育力などの育成のため、諸課題の解決を目指して思考を深め、プレゼンテーション発表ができる。
	c	主体的に学習に取り組む態度	農業と環境・福祉について興味関心を持ち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、課題を科学的にとらえて解決使用とする態度を身につける。

		重み付け	考査	考査外
		100%	0%	100%
前期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
		100%	0%	100%
前期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
		100%	0%	100%
後期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
		100%	0%	100%
後期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%

学期	単元名 （題材）	学習内容 （小単元）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	○研究のテーマ設定	・課題を導き出し、研究活動に必要な知識や技術の確認を行います。	○	○	○	c：農業と家庭生活・福祉に関する課題を導き、現代の課題に応じたテーマを設定することができる。 a：研究活動の立案に当たっては、意欲的に取り組み、必要な知識・技能の習得について理解している。 b：身につけた知識や技能について表現する技術を身につけている。	・出席状況 ・実習態度 ・実習レポート
前期末	○研究活動の実技の向上をはかる	・それぞれの課題に応じた取り組みによる自己学習を行い、実技の向上もはかります。	○	○	○	c：課題について意欲的に取り組んでいる。 a：研究活動の立案に当たっては、意欲的に取り組み、必要な知識・技能の習得について理解している。 b：身につけた知識や技能について表現する技術を身につけている。	・出席状況 ・実習態度 ・実習レポート
後期中間	○プレゼンテーションの実際	・レポートやプレゼンテーションについての専門的な学習を行います。	○	○	○	c：課題について意欲的に取り組んでいる。 a：研究活動の立案に当たっては、意欲的に取り組み、必要な知識・技能の習得について理解している。 b：身につけた知識や技能についてプレゼンテーションできる技術を身につけている。	・出席状況 ・実習態度 ・実習レポート
後期末	○研究のまとめと今後の課題 ○発表会	・研究のまとめを行い、今後の課題を確認します。 ・研究活動の成果についての発表会を行います。	○	○	○	c：自らの研究を通して農業や家庭・福祉に関する産業へ貢献しようとする意志がある。 a：研究活動の立案に当たっては、意欲的に取り組み、必要な知識・技能の習得について理解している。 b：研究の成果をわかりやすくレポートやプレゼンテーションにまとめることができる。	・出席状況 ・実習態度 ・実習レポート